

日本共産党
議員だから

3つの基本、 これからも実践できます

1 住民の 利益第一に 考える

公立病院として 川西病院拡充せよ

国の方向に沿って市立川西病院の改革プラン作成時、「独立行政法人化」も視野に入れて市民の手から病院を手放す方向が見え隠れました。日本共産党議員団として、市立病院として拡充すべきだと、医師の確保、市民から信頼される医療を積極的に進める提言もしてきました。



久代のまちづくり

地元住民の要求であった、歯抜け状況の騒音移転跡地活用計画が作られ、生鮮食品売り場、医療施設、北伊丹駅エレベーター設置など盛り込まれています。早期に実現すべく地元住民の皆さんと協力してまいります。

自衛隊阪神病院を 活用し喜んで いただいています

開業医を含め、川西市内の医療機関全体で市民の生命を守るネットワークづくりに力を尽くします。

国保会計への法定外繰入金、増額が実現

現市政のもと、国民健康保険税の引き上げが相次ぎ、ゼロに近かった「一般会計からの法定外繰入金」を増やせと要求し実現。それ以降料金の据え置きになっています。国民健康保険には年金生活者、若い労働者の加入が増え、より制度維持が厳しくなっています。抜本的解決は国の支援を増やすことであり、国会議員と連携し、市民の命を守る活動をしてまいります。

議員団で 全戸規模に報告

最近には年に2回、全戸規模で市政ニュースを配布しています。時々アンケート調査も行い、市民の要望を聞き、市政に反映しています。



早朝駅頭に 2500日、立つ

週に3から4日、市内駅頭で、仕事に出かける皆さんへ、おはようございますの挨拶と市政報告ビラを配布しています。市議選へ出馬を決めた日からもう21年目になります。ずいぶん通勤者の「顔」が変わりましたが、一生懸命市政の話をお届けしています。

2 住民に 市政状況の 報告

3 住民の 立場で行政の チェック

中央北地区 異常に高額な補償金を追及

通常は県の補償基準を使って補償金額を算定するのに、わざわざ「市独自基準」を作成し、市民の税金をふんだんに補償金として支出しました。追及したのは日本共産党だけであり、他の議員は全く触れませんでした。



市民の税金は 市民のために使え 中期財政計画のチェック

暮らしを良くして欲しいと住民は税を納めておられます。一円たりとも無駄遣いせず、暮らしに役立つ政策へ使うべきです。5年先の財政(中期財政計画)を見通し、川西の財政規模に応じた支出ができるかどうか、財政の健全化とサービスの向上を目指し絶えず計画をチェック、市民要求に基づく改善要求をしています。

市職員の力は市民の財産 正職員を基本に

私は職員の力を最大限市民へのサービス拡充に活かすべきと考えています。議員もそうですが市職員も給与・報酬は税金から払われています。蓄積された経験を生かし、市民への奉仕に徹して働いてもらうためにも、正規職員として身分を保障、市民のための企画を練り、暮らしを守る仕事にまい進する環境をつくります。

場当たりのな公共施設の 再配置を批判

旧加茂小学校校舎を教育関係施設にするしながら、パーティビルの空き床解消に教育情報センターを移転。旧加茂小学校舎はボロボロになる。アステビル管理会社経営支援に、市営駐車場を格安で売却、逆に市はアステホールを買い取り、貸館業務を埋めるため生涯学習センター機能を持ってくることに。無料で使っていた駐車場が有料になる。これらが本当に市民のための事業なのかと追及してきました。

「すべて市民の立場」で議員としての初心、がんこに貫きます

くらし・子育て 応援の市政

憲法を守り 「戦争する国」はダメ

本当に戦争する国にしたいの？
私が生まれて今日まで今の憲法に包まれて生きてきました。平和であればこそ川西においても安心して買い物ができ、職場へ、学校へ行くことができるのではないのでしょうか。その時々政権が、憲法に反して海外で武力を使ってもいいと判断、若者を戦地に送り、「殺し殺される」状態をつくることは、絶対に阻止しなければなりません。私は平和の国づくりへ一生懸命尽くして92年になる日本共産党の一員だからこそ、市民のくらし、生命を守るために頑張ることが出来ます。

私のまちづくり目標

- 一人になっても住みやすい「まち」
- 子育てが楽しい「まち」
- 生鮮食品売り場・医療施設が身近にある「まち」



安倍暴走と対決する

日本共産党

住田由之輔

すみだよしのすけ 市議会議員

住田由之輔プロフィール

1947年4月2日、(旧) 遼摩郡温津町生まれ。太田高校卒、神戸大学経済学部第2課程中退。川西共同保育所運営委員、川西小学校、明峰高校PTA会長歴任。1994年川西市議会選挙初当選以来5期目。現在総務生活常任、飛行場周辺対策特別、広報、都市計画審議会に所属。栄根第2自治会副会長。

川西民報 2014年7-8月号外

日本共産党川西市委員会
川西市平野2丁目1-3 TEL 792-2164
日本共産党川西市委員会の活動をお知らせします。

働く人の
権利守れ

財界の意向を反映し、安倍政権の骨太方針に、労働条件の改悪が盛り込まれています。「成果主義賃金支払い」です。これは成果が上がらなければ上がるまで長時間働かせる。残業代は払わないというものです。労働者はモノではありません。人間らしく働く環境をつくるため国会議員と連携してまいります。